

SHARP

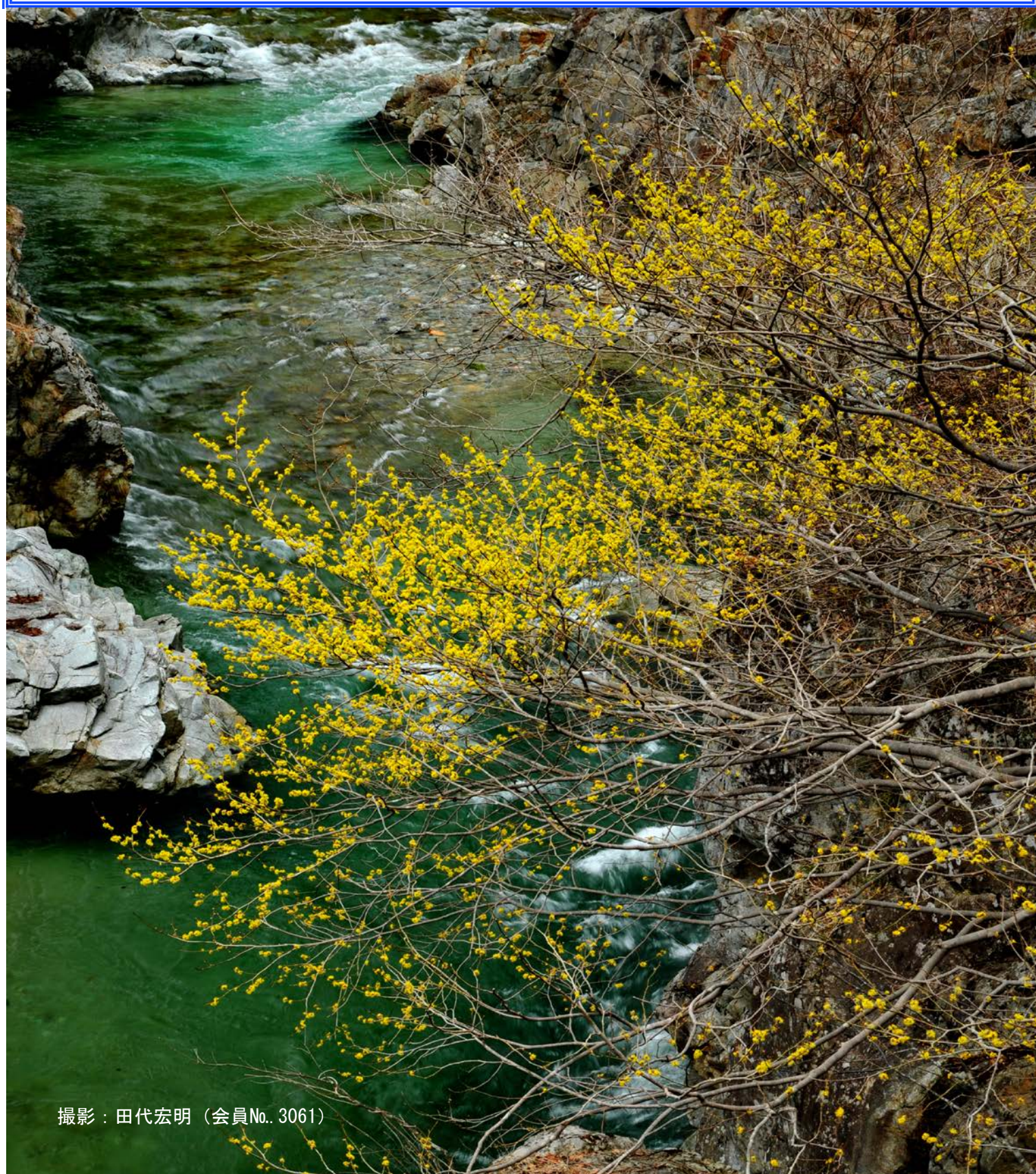
シャープ社友会 栃木支部会報

第28号

nikko

2011.6.20 発行
発行責任者 増田武司

<http://tcg-syayu.web.infoseek.co.jp/index.html>



撮影：田代宏明（会員No. 3061）

支部長就任にあたって

シャープ社友会栃木支部

支部長 増田 武司



今般の社友会栃木支部第二十三回定期総会で支部長に選出されました増田です。微力ではありますが、皆様のご協力を得ながら精一杯努めますのでよろしくお願いいたします。

社友会の目的は、一つは、会員の健康維持を助長しつつ、親睦を図り、二つ目はその活発且つ円滑な活動を通じてシャープ(株)に寄与することにあります。

社友会の活動は今までに先輩諸氏が築いてこられた各種のクラブ活動や、行事がありますが、さらに発展させ、一人でも多くの会員が参加しやすい内容にするよう役員の方や幹事の方々と相談、協議をしながら取り組んでいきます。私たち、社友会の会員も年々高齢になってきています。自分の健康は自分で管理することが大切ですが、その仲間から健康のヒケツやアイデアを互いに伝授し合う機会を設けることも今後の課題と考えています。

さて、栃木支部は四月末で会員が三七〇名を超す大きな組織に発展してきました。会員個々が保有している専門知識や技能は幅広いものがあります。現職を離れ個人の生きがいを見出し、会員の生きがい作りを応援するのも、社友会の重要な役割でもあると考えます。

また、社友会の会員は専門知識や技能を幅広く保有しており、これらの知的財産を地域社会に貢献できる

活動にも取り組んでいきたいと考えています。具体的な内容は今後役員会や幹事会で検討・協議したいと思いますので役員・幹事の方々よりよろしくお願い致します。

中村市議 三期目の当選

シャープ労働組合 栃木支部

執行委員長 印南 幸裕



日頃は、支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に対しまして格段のご支援とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

三月十一日に発生した東日本大震災では、大津波の影響で東北地方の太平洋沿岸を中心に大きな被災を受けています。早期の復興に向けて日本中が日夜努力をしているところです。

このような中で、矢板市内においても、成田、荒井地区をはじめ多くの方々が被災されています。社友会の皆様の中にもかなり大幅に被害に遭われた方がいらつしやう、心を痛めています。

さて、四月二十四日投票で行なわれた統一地方選矢板市議会議員選挙におきましては、「中村ひさのぶ」現栃木支部副委員長が三期目の挑戦を致しました。

今年には議員定数16人に対して、現職13人に加え、4人の新人候補者が立候補したこと、1人が落選をする少数激戦の大変厳しい選挙戦となりました。

「中村ひさのぶ」は、社友会の皆様をはじめ、協力会社、地元泉地区の皆様等々多くの皆様から暖かいご支援を頂き活動を進めてまいりました。

結果につきましてはご承知のように、1350票という立派な成績で三期目の当選を果たすことが出来ました。これまで、ご支援を頂きました皆様に感謝申し上げます。

現在、栃木工場では新しいカテゴリーの自由を持ち運び出来る「フリーテレビ」の生産で忙しい状況ですが、市場の需要を喚起する商品開発に加え日本におけるものづくりの対応が求められてきています。これらの対応策を労使で協議をしながら改善をして行きたいと考えております。その事が栃木工場の雇用の維持・確保に繋がりますし、矢板市の活性化や発展に繋がって行くものと考え、支部としても努力をしていく所存です。

最後になりますが、社友会皆様のおますますのご発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

東日本大震災

愛の義援金被災地へ

震災で災害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、三月十一日に発生した大震災で未曾有の被害に遭われた方々の日々の生活やその復興を支援すべく会員の皆様に愛の義援金のご協力をお願いいたしましたところ多くの善意をお寄せいただきました。

会員の皆様のご協力に心より感謝いたします。

これらの愛の義援金は、支部の支援金と合わせて、五十万円を下野新聞社を通じ東北の被災地へ寄付させていただきます。(シャープ社友会栃木支部)

第23回栃木支部定期総会を開催 大幅刷新体制のもと活動を開始

＜新役員＞（敬称 略） 平成 23 年 5 月 14 日現在

顧問	岩村 博	副支部長	山本 東洋治
支部長	増田 武司	副支部長	浜田 守
副支部長	荒田 英治	事務局次長	田中 芳一
事務局長	佐藤 龍雄	会計	平 暁雄
事務局次長	辻 勉	会計監査	平山 勝
会計監査	村上 五十六		

＜地域担当新幹事＞

第 1 S T 班	さくら・高根沢地区	石山 武士
第 1 Y S 班	矢板南部地区	赤塚 忠明
第 2 班	東町地区	福山 和夫
第 3 班	中・安沢地区	藤井 恭平
第 4 班	針生・長峰地区	中嶋 宗孝
第 5 班	荒井・扇町地区	今西 淳祐
第 6 班	扇町・本町地区	高野 久雄
第 7 班	中・末広地区	梅川 勝
第 8 班	成田地区	中倉 勝利
第 9 班	木幡地区	尾崎 亘宏
第 10 班	塩谷町地区	斉藤 誠
第 11 班	矢板西部地区	河越 泰博
第 12 班	矢板北部地区	谷口 通
第 13 班	西那須野西地区	只友 将弘
第 14 班	西那須野東地区	斉藤 清一
第 15 班	大田原地区	岡本 純一
第 16 班	大田原西地区	溝口 清
第 17 E 班	宇都宮東部地区	松沼 勝重
第 17 W N 班	宇都宮西北部地区	和田 元良
第 18 W S 班	宇都宮西南部地区	神原 紀夫
第 19 班	県内遠隔地・県外	事務局

五月十四日（土）、大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワールにて、栃木支部定期総会が開催されました。会員 103 名のほか、A V システム事業本部から太田部長の代理で川村副参事、労組から印南委員長、中村矢板市議会議員のご出席を戴きました。冒頭、東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げた後、郡司議長の進行のもと議案書に基づき審議を行い、全ての議案が承認されました。続いて役員改選が行われ左記の新役員が決定しました。（新幹事は輪番）

役員退任の挨拶

前顧問 浦川 正司



長・平山会計各位の当支部に残された業績は今後も継続され当会発展に寄与するものと期待しています。これも会員皆様のご協力の賜物と感謝と共にお礼申し上げます。

今年度の役員改選により退任致します各位を代表し一言お礼申し上げます。

岩村支部長・村上副支部

さて、私自身入会時より事務局、支部長、顧問と二十年間社友会に携わって参りました。過去を振り返りますと、これはと胸を張ってご報告出来る足跡が見つかりません。しかし、大過なく各行事その他を過ごさせて頂けたことは、各役員、幹事と会員皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

私達は、過去色々な道を歩いてきたと思います。小道・坂道・山道を、それぞれ目標に向かって苦難の道であつたと思致します。それらも完歩し、入学・就職・結婚・定年と五段階の跳び箱を乗り越えてきました。今度は、古希・喜寿・米寿・白寿と階段は続いていきます。この道程の中に、社友会活動が含まれて居ります。この年代になると老人と呼ばれる言葉が耳に入って来ますが、老年は人生第二のスタートで挑戦する心を持つて何か目標を立て実践する事です。現在、社友会栃木支部で開催する各行事への参加者が少なくなっています。今後皆さんの積極的な参加を願っています。

老いゆけよ我と共に

最善はこれからだ

最後に、社友会の永続と会員皆様様の益々のご発展を心より願って退任の挨拶と致します。



岩村 博



村上五十六



平山 勝

古希を迎えて



会員番号 一七九七
城本 昭

昨年（二〇一〇年）十一月に古希を迎えることが出来ました。年月は現役時代に比べ、この十年間は本当に早く過ぎた感じがします。男性の平均寿命は約八十歳ですが、いくら長生きしても人に介護される生活は絶対避けたいと思っています。

定年後、自分なりに充実した日々を送る努力をして来た積りですが、三月十一日の大震災に遭遇するとは全く夢にも思いませんでした。千年に一度とか明治時代以来初と言う大震災に遭遇した事を教訓に日々の生活習慣を見直し、二度と来る事のない一日を大事に過ごしたいと思います。（天災は忘れた頃にやって来ると言われます。油断大敵です。）

今日の自分は過去の自分の結果であり、明日の自分は今日からの自分の生き方で決まります。

毎日心掛けていることは、①早起きの励行（午後九時には寝床）②朝十分間ラジオ体操③毎日五十分のウォーキング④食事のバランス⑤頭の体操。そして趣味（ゴルフ、カラオケ、旅行）を通じ出来るだけ多くの人と親交を深めたい。

これからの人生は、もう七十歳だと何事においてもプラス思考で、健康に留意し充実した一日一日を送るように心掛ける所存です。



会員番号 一七九二
岩村 博

定年退職から早くも十年、古希を十二月に迎えました。健康に恵まれ、充実した日々を送っています。しかし、七十年間使ってきた体ですから健康診断を受ければ、要注意を何点か受けるのは当たり前であると自分で勝手に判断を下しております。

老化予防には、栄養面・体力面だけでなく、三つの柱として社会面からの取り組みが大切です。社会参加、一日一回の外出が老化予防に効果ありという最新研究が注目されています。私は地域のボランティア・社会貢献の活動でけっこう忙しい毎日ですが、好きなゴルフも楽しんでいます。

永年支えてくれた妻に少しでも感謝の気持ちを伝えたいと毎日仲良く、楽しく暮らしております。また、夫婦で海外旅行を楽しんでいます。海外に行っていない時は、国内の旅行や日帰りのバスツアーに参加しています。この矢板の地は、歳を重ねるほどに生活環境の良い所です。私達夫婦この地で楽しく人生を送って行きます。



会員番号 一七九四
松山 善匡

古希のお祝い、大変ありがとうございました。

また、先般の東日本大震災時に被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、私もやっと七十歳古希、いよいよ人生の終盤の始まりを迎えるのかな、ここまでよく生きて

来れた。これは家族をはじめ皆様の声援の賜物と喜び感謝しております。

定年退職後は、呆然と好き勝手な日々を過ごしてきたため天罰が下り、直腸がん、三回の骨折や胸・背中に带状疱疹等連続して患い、幸い後遺症も無く快復し、現在では直近長峰公園での草花や桜、つじ、野鳥等自然の変化を観察しながら毎日一時間程度楽しんで散歩しております。

今後は、残るエネルギーを遊び・家族サービス・社会奉仕等への転換に努め、今までの罪滅ぼしを行う予定です。

最後に、社友会の益々の発展と会員の皆様方のご多幸をお祈りし、締めさせて戴きます。



会員番号 一八二二
富岡 正雄

ある日、社友会の役員の方からの「長寿のお祝い」が自宅に届けられ、「古希」が遂に自分の身の上にも現実のものとなったことを思い知らされた。退職後、既に十年もの長い年月が過ぎたことへの驚きは大きい。

「古希」は、『七十年生きる人は古くから稀である』に由来するらしいが、最近では七十歳に達したご高齢の方を隣近所で見かけることも多く、それほど「稀」でもないと感じる。だが、これは別に屁理屈を言っているのではない。七十歳を過ぎても健康であることのありがたさを心から感じている。

現役時代には幸いにも手術や入院の経験が無かったが、この十年間は三回の手術と入院を繰り返し、その都度、健康の大切さを改めて実感させられた。

現在は、家族の協力のおかげで、すこぶる快調に毎日を送っている。

また、友人からの勧めもあり、週一回のテニスの練習も始めた。三日坊主の飽きっぽい性格の自分ではあるが、友人の温かい激励を受け、約一年半続いた。身体を動かした後の爽快感と共に、筋力の低下に歯止めをかける効果があることが実感できる。為今後も可能な限り、続けたいと考えている。



会員番号 一八四三

阿部 修一

退職後自分の趣味や楽しみを広げるべく色々なことを挑戦し今日に至っていますがその中のいくつかを紹介します。

退職後観光に温泉と北海道、東北等ドライブ旅行を楽しんでいます。四国へ八十八ヶ所の巡礼にも出かけましたが、巡礼旅は体力、気力共必要で年齢を重ねての巡礼は厳しいと思いました。七十歳過ぎてからは無理か？

山登りも体力維持のために退職後始めたウォーキングの延長と考え始めました。ウォーキングは毎日約一時間、登山は途中までロープウェイでのぼる八甲田山等出来るだけ楽に上れる山を念頭にゆっくりにしたスケジュールを立てて登っています。

これらのドライブ旅行は全て自分で観光名所、走行距離、温泉宿泊場所等勘案し作成しています。此のプラン作成は大変楽しいものです。

魚釣りも友人の勧めもありやり始めました。一緒に出掛ける友は皆腕が良く大物を釣り上げていますが私といえど釣れても釣れなくても友人と一緒に

にワイワイ言いながら夜の旅館の料理とお酒を楽しむに竿を垂らしています。

古希を迎えてこれからの人生も健康に留意し、家族、友人、知人等大切に、チャレンジ意識を忘れずに毎日を過ごしてゆきたいと思っています。



会員番号 一八八一

中野 武久

我誕生日三月二十一日、通常年は「春分の日」祝日、先祖に感謝する彼岸の中。七十回目（内二十回は海外で）の誕生日を無病息災で迎え、大変有難く、幸運であったと思っている。

只、古希誕生日十日前、三月十一日午後三時前突然、未体験の激震に襲われた、震源地三陸沖、観測史上最大M_{9.0}の巨大地震は、広範囲且つ記録的な大津波を発生させ、未曾有の大災害と未知の原発事故を誘発、被災された多くの方々の苦難を思うと、心が痛む。

また、五十二年前、我社会人成り立ての昭和三十四年九月二十六日、我が故郷、三重県を含む東海地方を襲った巨大伊勢湾台風、高潮による大災害と東日本大震災の津波による被災地の惨状が重なり思い起こした。

同年年末二週間前、被災者への支援活動として、名古屋支店を拠点に被災地へテレビ巡回修理サービスの社命を受け、大晦日迄、一人で、現地で自転車を用い被災地の顧客を巡回。再び映像を取り戻したテレビを見て、お客さんから「これで、良い正月を迎えられる」と笑みを浮かべて言ってくれた姿に安堵。

（注釈）伊勢湾台風大災害

895 hpa 最大風速 75 m/s のスーパー台風は、紀伊半島から東海地方に高潮により大被害をもたらし、犠牲者 5.1 千人、負傷者三万九千人、家屋全壊・半壊・流失併せ十五万四千軒、船舶被害一万四千隻、被災者数…全国一五三万人（内三重県三十二万人、愛知県七十九万人）。

新たな挑戦

会員番号 一八八二

廣島 好美



二十歳から続けている

山岳登山も、数日間登山や長時間が必要とする日帰り登山には体力的なことからも長期継続は難しく、今後は従来の厳しい登山活動からマイペースでの登山に切り替え山歩きを楽しむことも考えてます。

五十年余りの長く続けられたのは、丈夫な身体を与えてくれた両親や活動を理解してもらえた家族、仕事や趣味に協力を頂いた友人に感謝しております。

人間五十六歳から八年ごとに身体に変調が出るといわれていますので、七十二歳の転機は趣味に没頭し忙しくて身体の健康を気にしていられない動きをするために趣味をもう一つ増やし、昨年その挑戦を新たに始めました。

七十歳にして自分自身全くの未知の世界である陶芸にチャレンジ、ゼロから挑戦とは言え、タタラ板、高台、土壁等々の専門用語を覚えるのも苦労します。

作品づくりに入る前は粘土選びや収縮率を計算して取り組む必要はあるが、週二日の実習時は頭で考えず失敗を恐れずとにかく一つひとつ挑戦して目標達成するまで頑張りたい。

幹事コーナー

針生には「日光北街道」があつて

今もその名残がある

第四班幹事 奥村 徳男



当班は矢板市針生東地区で、JR矢板駅の北にあるツツジの名所でもある長峰公園脇の線路沿いにある住宅団地一帯で、九名の会員が在住します。公園は、ウォーキング、散歩に最適で日々多くの方で賑わいます。ご存知の方もいると思います。が当地域の紹介をします。

針生には日光山参詣道である旧道「日光北街道」があつて、今もその名残があります。長峰公園脇の道を上り、長峰墓苑の裏山の尾根沿いを通り、矢板木材共販所へ抜ける道筋、これが「日光北街道」であり、その昔奥州諸大名の東照宮巡拝に利用されたその行程は「今市―矢板―大田原」間で約40kmとのこと。俳聖松尾芭蕉が「おくのほそ道」行脚の際この街道を通ったそう。坂を上りつめた三叉路には

街道の案内板、また木材共販所の入り口には地藏尊があります。

長峰公園に來られた際ちよつと足をのばしてみてもは…。『日光北街道』矢板市案内板前に立つ筆者



地域の仲間と結束
第八班幹事 福島 泰正

我々第八班は矢板市の

北東部の住宅地ハッピーハイランドに会員23名が居住しています。殆どが昭和五十年代以降転勤で、関西方面からこられた方が多いです。現役時代から同じところに住んでいるので、子育て時代を通じて家族ぐるみの付き合いをしている方が多くいます。そのため結束力は強いと思っています。

今度の東日本大震災では、当団地は栃木県では稀に見る被害を被り、会員の中には家屋が地震で全半壊の認定を受け、避難生活を送っている方もおられます。また約一ヶ月上下水道が止まり、不自由な生活を送ってきました。我々会員の状況は具体的に把握することが出来ているのは、このように日頃の付き合いや結束力があるからと思っています。

会員と出来るだけ顔を見る機会を作るため、毎月の幹事会後の社内報「窓」や連絡事項は全ての会員の自宅に手配りで配布しています。会員はそれぞれ仕事や、菜園、ゴルフなど趣味やボランティア活動などで、元気に過ごしておられることを確実に把握できています。

ひとつの団地に非会員や数年内に定年退職者を含めると三十数名の仲間になり、OB・社友会でも特徴のある地域になります。

太陽光発電と光熱費の考察

第十二班幹事 今泉 正男



退職を機に、築30年の家を解体し新築する事にしました。

その際、オール電化システムと太陽光発電システム(4.2kW)を入れました。その後三年が過ぎ、現在の光熱費と過去の光熱費を比較するとともに、太陽光発電の設備投資の回収年数を二〇一〇年一月―十二月の実績から推定してみました。

太陽光発電システム(4.2kW)の設備費 110万円
矢板市からの補助金 12万円
自己負担金 98万円

過去も家はプロパンガス、石油、電気代で年間約25万円掛っていましたが、二〇一〇年の一年間の光熱費は約16万円と9万円程下がり、オール電化(深夜電力の活用を含む)により大幅な削減が図られています。

太陽光発電システムによる一年間の発電量は4,064kWhとなっており、この内1,307kWhは自宅で消費(昼間電気料で換算すると36,962円相当)。東電への売却は2,757kWh、売電額は132,336円、太陽光による年間の発電金額合計は169,298円となります。

この結果から、太陽光の設備償却年数は「5.8年」との結果となりました。

昨年の東電との電気の売り買いの総額は、売り越し9,439円とプラスとなっています。

また、今回の東日本大震災の際の停電時には、日中であれば、太陽光電力でテレビも見られましたし昼食時の電気プレートを使った炊事も出来ました

ので、オール電化システムの欠陥である停電対応にもなり、原子力を使った大型の発電システムに頼らない「自己完結型の小型発電システム」としてこれから更に普及が進む事を期待しております。

追加でいえば、この昼間発電した電力を夜使える様な安価な蓄電システムの開発が急務と思います。



梨作りの

第十六班幹事 高久 久雄

私は定年後家業である果樹園で梨栽培をしております。梨作りは年間を通して大変な労働力と経費がかかります。でも収穫時には良く出来ると苦労も吹っ飛びます。また、梨という字は読んで字のごとく「利を生む木」と書きます。だが失敗すると何にも無しになりますのでとても大変な仕事です。

私は安全安心してお客様に喜んでいただける梨作りに毎日励んでおります。では、年間を通して梨作りの一連の仕事を紹介してみます。

一月―三月は木が休眠中に冬のつらい仕事でのせん定作業、一枝一枝ごとせん定します。その後せん定の終了時に枝一本一本に切り口に病害虫予防と木の枯れ防止予防剤の塗布。次に、木の枝しほり作業、出来るだけ水平になるようにしぼります。実の落下防止のためと実に実を取るため。

三月―四月、畑の肥料、消毒、草刈りと耕起作業等。四月上旬になると花が咲きますので人工授粉をしますが、最近のみつばちをとばします。その後、むだ花の摘み取り、バランス良く花を残します。

五月―六月、実の摘果作業、ビー玉くらいの大きくなりますので、三回くらいに分けて、ひと芽につき、良い実を選んで一個にする作業は二週間くらいかかります。

七月―八月、畑の草刈り・消毒・低農薬の散布。その後実を大きくするための実肥の散布。次に、太陽光を取り込むため、むだな枝や花の切り取り作業。九月―十一月、いよいよ収穫時期。サイズ毎に選別と出荷作業です。袋詰め・箱詰め・発送・出荷等。十二月、一年間の出来に感謝し、御礼と来年のために木作りとして御礼肥料を散布します。

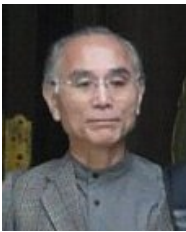
一連の年間の仕事を大まかに紹介致しました。

次に、梨栽培の品種は早生種の甘くておいしい幸水をはじめ、豊水、あきづき、新高、かおりと栃木県開発のブランド梨で保存のきく、につこり梨と数品種を栽培しております。これらの梨は自分達で直接販売し地方には宅急便で発送出荷しております。梨のほかにも、お米と野菜等も作っておりますが、これらは近くの「きらり佐久山」農産物直売所で販売しています。

社友会員の皆様ぜひ来て下さい。待ってます。

一般投稿コーナー

音を出さないオーケストラ奏者



西村 光二

皆さん、オーケストラの演奏会で音を一音も出

さないのに舞台上に堂々と登場する演奏家が居ることが有るのを知っていますか？その演奏者は音を出さないどころか音を消しているのです。『それは指揮者だろう？』『いいえ、一般に指揮者は演奏者とは呼ばないですね。』

昨年の春、フランスはパリでコロンヌ管弦楽団演奏会でストラヴィンスキー作曲『春の祭典』を聞いた時のこと。

本番前のゲネプロ（総仕上げの舞台稽古）にもぐりこんで聞いていると、舞台の最上段（大体打楽器が陣取っていることが多い）でうろろうしている謎の人物。

何の楽器を操るでもなく演奏の最中に時々太鼓の下に潜り込んで手を当てるのです。

楽器の調子でも悪いのかなと不審に思ったもの的大して気にも留めずにゲネプロは終了。

さて、演奏会本番、いよいよ『春の祭典』の演奏になると大太鼓奏者の脇にもう一人正装の団員が座っているのです。

演奏が始まり大太鼓が大音響で鳴らされる場になるとその人物はやおら大太鼓の下にしゃがみ込んで、大太鼓奏者が表側の皮を抑えるのに合わせて裏側の皮に手を当てて音を消しているのです。

そう、この人物が音を出さない『オーケストラの奏者』なのです。

CDやレコードではもちろんこのような演奏者が居ることなど見ることはできません。また、DVDやビデオでも演奏中にこのような奏者が画面に現れることはないのです。これまで全く知りませんでした。

このような発見も生演奏を鑑賞する楽しみの一つでしょう。

新人賞と鳥獣管理士

貝塚津音魚（本名：貝塚恒夫）



昨年六月、第二詩集「魂の緒」で第四回栃木県現代詩人会新人賞を受賞、末席を汚すこととなった。

第一詩集「若き日の残照」の上梓に於いては、太田将勝教授と国見修二先生との巡り合いがあり、第二詩集では石下典子氏、山本十四尾氏（下野新聞詩の選者）、鈴木比佐雄氏（コールサック社代表）との出会いがありました。

現在は、日本詩人クラブ会員、栃木県現代詩人会会員、文芸たかだ会会員（上越市）、詩誌「衣」同人に於いて詩の活動を行っています。また、詩誌「コールサック」にも年四〜五回の投稿をしている。

今年、コールサックより鳥獣管理士の経験を生かした、鳥獣に関するエッセイを三〜四回を投稿することになりました。

現在は「薄葉本を読む会」でボランティアをしており、小学校で本の読み聞かせなどをやっています。詩人という何者であるのか知れない響きと存在、遙か昔少年時代胸の奥深くしまい込んだ得体の知れない詩らしき種が、今静かに芽を出した。巡り合った人たちの手によって、その種は土に植えられ渴望した詩のところに届き、命の水を注ぎ育んでくれたのだ。巡り合った人たちに報いるためにも、更に精進を重ね人生の機微を諷い続けて行きたいと思えます。

鳥獣管理士は、一昨年宇都宮大学（事務局は宇都宮大学農学部附属里山科学センター）と県が協力して里山野生鳥獣管理技術者養成プログラムを立ち上げ五年間で六〇名の鳥獣管理士を養成するとして開校。里山と野生鳥獣、里山科学論、里山再生学

県現代詩人会新人賞に貝塚津音魚さん

2010年（平成22年）6月1日

19



県現代詩人会新人賞に選ばれた貝塚さんの第2詩集「魂の緒」

県現代詩人会（我妻洋会長）は、貝塚津音魚さんの第2詩集「魂の緒」を第44回県現代詩人会新人賞に選んだ。6月27日午後2時から宇都宮市のホテル丸治で表彰式を行う。

貝塚さんは大田原市薄葉在住。1948年生まれ。詩誌「衣」同人、「魂の緒」は2007年の「若き日の残照」に次ぐ詩集。母親の最期を自宅でみた体験などをテーマにした45編を収録。

貝塚さんは「予想していたに当たった同会常任理事の

「魂の緒」 生と死考えさせる



のほか、山田雅己さんの「全部抱きしめて」、渡辺陽子さんの「十字を切る花」がノミネートされた。検討の結果、情におぼれながらも第三者の目で生に執着する母親の実相を直視し、リアルに表現した貝塚さんの作品が「生と死を読者に深く考えさせる」などとして高く評価された。

山でのアンケート調査や鳥獣被害対策の講習会や電気柵の設置指導等を実施。

そうして、地域に密着したイノシシの対策論文と発表等を経て、無事日本で第一号の鳥獣管理士の免許を取得するに至った。

鳥獣管理士の基本としては、鳥獣の個体数調整（捕獲）と被害対策防止ということになるのか。

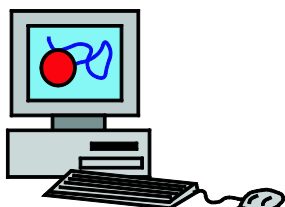
しかし、現在の里山は若者がいなくなり、黒羽地区の部落では六〇歳を越える老人が八〇%以上という状態で里山は荒れ放題、里山という境界線を越えてイノシシやハクビシン・アライグマが来襲、老骨に鞭打って作った作物が次々に食い荒らされてしまい、日本人の心の故郷に深い影を落としている。

一昨年栃木県のイノシシ捕獲数は六九〇〇頭ですが、全く減っていない状況にあり、今年は八〇〇〇頭の捕獲計画を立てている。また、日光地区に於いてはクマザサがシカに食べつくされて、生態系まで変わってしまったという状況にあります。更に今脅威と成ろうとしているのが、ハクビシン、アライグマの被害です。

行政もこのことに目覚めて早急に手を打たないと埼玉県の二の舞い（ハクビシン・アライグマを捕獲する業者と家に侵入されない様にする業者が繁忙を極め繁盛している）になってしまいます。

私の夢としては、近い将来鳥獣管理士を通じて行政、地域住民（自治）、猟友会等のコミュニケーション体制作りを推進し、里山の活性化を図ると共に再生を目指し、里山を通じて鳥獣と人間の共生を図りたいと考えています。また、本年三月には二期生が卒業、二五名を越える鳥獣管理士が存在することになります。

宇都宮大学里山科学センターと県、市の行政、鳥獣管理士のネットワークの協力体制を構築して夢を叶えるべく努力したいと考えています。



パソコンクラブ

入会申込・問合せ先
会 長：仲谷 輝郎
T e l : 028-621-8670
事務局：山路 規生
T e l : 0287-37-0125

パソコンクラブの紹介

入会金：不要です

年会費：2,000円

定例会：毎月1回（第1水曜日） 午前10時～12時 於：社友会室
パソコンに関する情報交換や研修会の日程・懇親会の開催に関して相談を行います。

研修会：毎月1回（第3水曜日） 午前9時半～12時 於：社友会室
特定のテーマは決めずに、各自の覚えたいことや問題点を持ち寄り、会員が相互に教え合う方法でやっています。 優しくと親切をモットーにしています。

栃木支部会報「nikko」のページ編集を担当して、文書作成や写真・イラストの挿入など必要に迫られることがテクニックの向上に繋がっています。

その他、音楽（カラオケ）写真の縮小など各人のノウハウを披露して、新しいテクニックを勉強し合っていますので、是非、会場の見学をお待ちしています。 更に具体的には

パソコンを使用することはボケ防止に繋がります！！

パソコンだけならこんな事が出来る

【Wordでは】

◎面白い文字を使用したり、見やすいレイアウトを考慮した催し案内状の作成

◎写真やイラストを入れた案内状の作成

【Excelでは】

◎自分流の住所録が出来、行事・記念日などが管理出来る

◎個人の名前を入れて色々な成績表が作れる

◎その表をグラフに出来る

【デジカメ画像処理】

◎写真の編集（明度調整、色合い調整、回転、モザイク、トリミング等）

◎写真の縮小処理

【その他】

◎ゲームで頭の体操

更にインターネットをつなげば

こんなに便利な事が出来るよ！

◎ガーデニングや料理レシピで知りたいことが直ぐに調べられる

◎旅行先の名所や案内が調べられる

◎無料カラオケが出来る

◎電車の時刻表検索、ルート検索

◎無料メールが出来る

◎悩み事相談の解決方法がわかる

◎知人の家の場所が検索できる（地域によっては、家の写真も見られる）

◎庭木の剪定方法検索、害虫処理等

◎飲食店等の各種割引券ゲット

◎見忘れたTV番組の後日鑑賞

◎全国の名物・名産が取り寄せでき、割安の訳有り商品が買える

上記の項目に対して、ホームページ上で具体的な方法などについて掲載していきます。

会員の紹介

アイウエオ順

安東 郁哉	青木 正和	浦川 正司	木村 正	佐藤 龍雄	中村 義雄
仲谷 輝郎	日置 久義	廣田 哲雄	平山 勝	古市 正昭	福本 英之
山崎 一義	山路 規生				

ゴルフ同好会

平成22年度は5回のコンペを実施し、延べ241名の参加があり、会員相互の親睦と健康増進を図ることができました。会員数も前年比7名増の71名を数え、今後もより多くの方楽しんで頂けるよう、活性化を図って活動を進めていきます。尚、3月度コンペは東日本大震災の影響で中止致しました。

＜平成22年度 活動状況＞

NO	実施日	内 容	場 所	参 加 人 数
1	5月25日	第73回コンペ	千成 GC	44名
2	7月26日	第74回コンペ	随縁GC 鬼怒川森林コース	49名
3	9月29日	第75回コンペ	千成 GC	50名
4	11月26日	第76回コンペ	琵琶池 GC	53名
5	1月19日	サブコンペ	アローエース GC	45名

第74回は雷雨の為 ハーフコンペとなる

＜コンペ入賞者＞

内 容	第73回	第74回	第75回	第76回	サブコンペ
優勝	松内幸男	針原修五郎	木島忠男	安部敏行	内田秀雄
準優勝	生嶋良幸	前野雄二	杉山隆夫	梅川 勝	徳田義文
3位	辻 勉	星野幹夫	大橋堅固	合田 研	杉山隆夫
ベスグロ(スコア)	生嶋良幸(81)	河越泰博(39)	大橋堅固(78)	徳田義文(77)	徳田義文(78)



第75回コンペ 千成GC スタート前の記念撮影

＜平成23年度コンペ日程＞

内 容	実施予定日	場 所	・入会金：不要です ・年会費：1,000円 ・定例コンペ：5月、7月、9月、11月、3月 ・新会員募集：連絡先幹事 松内幸男 Tel：0287-43-6153 E-mail：matsuuchi.yukio@wind.email.ne.jp
第77回コンペ	5月31日	千成GC	
第78回コンペ	7月25日	那須小川GC	
第79回コンペ	9月26日	未定	
第80回コンペ	11月28日	未定	
第81回コンペ	3月28日	未定	

＜同好会の紹介＞

歩こう会

●活動状況

■第71回 奥鬼怒温泉郷

H22年10月17日(日) 参加人員23名



日光沢温泉近くにて

■第72回 本山・懇親会

H23年1月23日(日) 参加人員24名



こどもの森公園駐車場にて

第73回 天狗山(3月14日予定)は23年3月11日の東日本大震災の被災で中止しました。

●歩こう会の案内

- ◇栃木県内又は近県の山、溪谷、湿原等 景勝地の日帰りトレッキング。(軽登山又はハイキング)
- ◇コースの難易度は初心者向き、一般向きを交えて実施。歩行距離6～8Km、3～4時間程度。
- ◇トレッキングの後、時間があれば最寄りの温泉で疲れを癒し、心身のリフレッシュを図る。

●平成23年度 例会スケジュール

No	実施月日	行	先
第74回	H23年5月22日(日)	横根山高原	(初心者向) 鹿沼 栃木百名山
第75回	" 7月24日(日)	霧ヶ峰高原	(一般者向) 長野県 日本百名山
第76回	" 9月18日(日)	湯元～ 戦場ヶ原	(初心者向) 奥日光
第77回	" 11月6日(日)	妙義山	(一般者向) 群馬県
第78回	H24年1月23日(日)	羽黒山・懇親会	(初心者向) 宇都宮 栃木百名山
第79回	" 3月25日(日)	天狗山	(初心者向) 足利

基本的には隔月毎に、年間5～6回は実施します。都合により一部変更する場合があります。

●「歩こう会」の運営組織

「顧問」尾崎亘宏 [会長] 松本 隆 [副会長] 城本 昭・三浦勝利 [会計] 赤塚忠明
[監査] 福山和夫 [幹事] 細川美生・手島正典・西尾順三・津田功・細小路光夫

●会員の募集

- ・年会費 2,000円(10月以降の途中入会は1,000円)但し 家族会員は不要。
- ・入会申込 歩こう会の会長又は役員まで連絡下さい。 年度切替え 4月より。

●参加申込

- ・例会の案内 詳細は、その都度会員宛にハガキにて連絡します。
- ・参加費 案内に基づくべ切りまでに、振り込みを以て参加の意思表示とします。
- ・参加取消し 実施の3日前以後は、参加費の返却はしない事になります。

平成23年度新規会員募集中です。興味のある方の入会を歓迎します。

問い合わせは 松本 隆 Tel 0287-63-6458 迄



カメラクラブ



春の撮影会を実施

4月13日、クラブ撮影会を実施しました。この季節は何と言っても「桜」、今年の桜前線は少し遅く、開花のタイミングからみて美しい桜が見られる宇都宮周辺を中心に撮影ポイントを回りました。特に古賀志山山麓に抱かれ、豊かな自然に包まれた城山西小学校の校庭にたたずむ樹齢400年の「孝子桜」は今年も堂々たる姿を見せてくれました。

栃木は四季を通じて美しい風景が楽しめます、写真に興味をお持ちの方、是非クラブ仲間に加わって撮影を楽しみませんか、新しい仲間の入会をお待ちしています。



Photo by M.Shiga

城山西小学校 校庭の「孝子桜」

『しもつけ写真大賞展』に入選、入賞

下野新聞社主催の第14回しもつけ写真大賞展の最終審査が去る4月15日に行われ、応募総数2,063点の中から当カメラクラブ応募者の中からも入選、入賞者がありました。

- 準特選 「実りの秋」 只友将弘
- 奨励賞 「秋たけなわ」 田代洋子（田代夫人）
- 入 選 田代宏明 山口重一



「実りの秋」 只友将弘

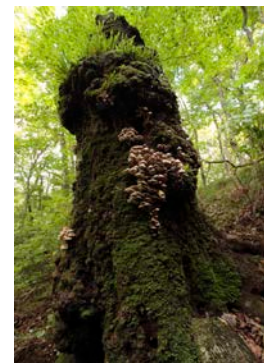


「秋たけなわ」 田代洋子

写真誌『フォトコン』コンテストに入賞

月刊写真専門雑誌「フォトコン」4月号の月例コンテストに、当クラブの志賀 実氏が特選に入賞し、1ページ大に掲載されました。

応募部門：ネイチャーフォト 中・上級コース
特選 画題「風 格」



「風格」 志賀 実

平成23年度活動計画

年 月 日	活 動 内 容	年 月 日	活 動 内 容
2011 年 4 月 1 3 日	撮影会（宇都宮方面、桜）	2011 年 1 0 月 1 2 日	撮影会（昭和村、矢の原）
5 月 1 1 日	撮影会（日光方面、ツツジ）	1 1 月 0 9 日	定例会（撮影会作品講評）
6 月 0 8 日	定例会（撮影会作品講評）	1 2 月 1 4 日	定例会（基礎研修）
7 月 1 3 日	定例会（基礎研修）	2012 年 0 1 月 1 1 日	定例会（新年顔合わせ）
8 月 1 0 日	撮影会（那須塩原スッカン沢）	0 2 月 0 8 日	撮影会（日光の冬景色）
9 月 1 4 日	定例会（基礎研修・講評）	0 3 月 1 4 日	定例会（撮影会作品講評）

会 員 募 集 中！

連絡先 幹事： 只 友 将 弘 携 帯 090-3248-7309



カラオケ同好会

<入会申込・問合せ先>

会 長： 福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局： 青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ カラオケ同好会増殖中 ♪♪

お蔭様で、平成23年4月には、カラオケ同好会も4年目となりました。昨年より、若い？女性も加わり、益々、楽しい歌の会。他にこのようなクラブが有りますか。愛好者が格安料金で身近なスタジオに集まり、月に一度の楽しい時間が過ごせ、気の合った仲間と会話もはずみます。カラオケ終了後には温泉入浴のサービス付きもあり、次回が待ちどおしい、そんな集まりに是非参加してみてください。勿論、経営努力で入会金/年会費ともに無料（タダ友）です。同好会一同、皆様のご入会を心からお待ち致しております。

来たれ新入会員！ 毎月、豪華賞品も用意しております。 体験参加もOKです。

<定例会活動状況>

実施日	実施場所	参加者数
4/13	コリーナ矢板	8名
5/11	コリーナ矢板	8名
6/15	コリーナ矢板	9名
7/13	コリーナ矢板	8名
8/10	カラオケ BarBan	8名
9/14	カラオケ BarBan	9名
10/12	コリーナ矢板	8名
11/9	コリーナ矢板	7名
11/30~12/1	鬼ヶ原口作レオレ	7名
1/11	コリーナ矢板	10名
2/8	カラオケ BarBan	9名
3/8	カラオケ BarBan	13名



1月 歌謡の集い出



1月度 定例会参加



3月度 定例会参加

「目ざせ満点パパ」カラオケ好きの皆さん！

是非、カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか。
まだ、満点は出た事ありません。

「今迄の最高得点」・・・ 995点 / 1000点満点
98点 / 100点満点

<同好会会員>

福永勝行	青木正和	村上五十六	城本 昭	古市正昭	丸淵孝文	三堂地時臣	島田次秀
山本正和	浦川正司	津久井秀一	徳田 浩	福本英之	細川美生	手島 正典	津田 功
小倉麗子	上野 弘子	古市和子	泉口トシエ	村上サダ子		《 計 21名 》	

新入会員紹介

(平成二十二年十月一日～二十三年三月末入会者)



会員番号 五二二七

稲田 明

一九五〇年十月九日生

いもので半年が経過しました。昨年十月に定年退職後、

在職中は、上司、同僚、関係部門の方々には大変お世話になり感謝しております。

健康第一と考え退職後より毎朝のウォーキングをし元気で若々しくを心がけていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願いします。



会員番号 五二八一

筒井 昭夫

一九五〇年十二月二十四日生

社友会に入会させていただきました。昨年十二月に定年退職し、

退職後は、日光連山を眺めながら愛犬との散歩を兼ねた約一時間のウォーキングを行っております。在職中よりスリムになった気がします。自然に親しみながら、健康維持に努めたいと考えております。

今後とも皆様方には、何かとお世話になるかと思いますが、宜しくお願い致します。



会員番号 五二八六

高橋 進

一九五〇年十二月二十八日生

昨年十二月に新会員になりました。

元気で諸先輩方の仲間入りができたことを嬉しく思っています。転向にあわせて近郊への旅行やハイキング、また映画などとゆつたりとした時の流れを楽しんでいます。

社友会の皆様には今後とも何かとお世話になりますので宜しくお願い致します。



会員番号 五二八七

国井 頼邦

一九五〇年十二月三十日生

昨年十二月に定年退職し、

社友会栃木支部に入会させていただきました。栃木に配属され、栃木で定年を無事迎えることができました。諸先輩方々の御指導のお陰と感謝しております。これからは兼業でありました農業（わずかの田畑ですが）に専念しようと思います。



会員番号 五三三九

渡辺 武

一九五〇年二月五日生

二月に退職し、社友会栃木支部に入会させていただきました。

退職後は、旅行やゴルフ、野菜作り等々、自然に触れながら過ごそうと思っていました。思いとはうらはらで日々奮闘中です。

今後は、社友会の皆様方には何かとお世話になりますが、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



会員番号 五三四一

原田 博美

一九五二年二月十六日生

一月に定年退職し、社友

会栃木支部に入会させていただきました。

これからも、更に有意義に、少しでも成長出来るよう、色々と模索挑戦したいと思っています。

今後ともご指導、ご鞭撻を、宜しくお願い致します。



会員番号 五三五七

杉田 好男

一九五一年二月二十二日生

この二月末に栃木へ戻つてまいりました。

三年間の米国勤務、その後の本社での勤務を含め約十九年間栃木を離れていました。引越しまもなくの東日本大震災、計画停電や余震もあり、未だ地に足のついた生活とは参りませんが早くこの環境にも慣れ、今後の人生や栃木での生活等について諸先輩の皆様からいろいろご指導をいただけたらと思います。宜しくお願いいたします。



会員番号 五三七六

野村 博

一九四九年一月七日生

東日本大震災の三月、加入させていただきました。

現在、独立し事業経営にあり、チャレンジ精神をモットーに健全経営を目指し、取り組んでおります。今後、社友会の皆様のご指導を頂きながら、一層の親交を図って参りたいと考えます。

どうぞ、宜しくお願い致します。



会員番号 五二七七

吉成 昭

一九四八年十月十日生

SFC退職後、あれもしたい、これもしたいと思い巡らせていましたが、三ヶ月経ち何も出来ていません。予定が無いという事はいかに素晴らしい実感、悠々自適のセカンドライフを楽しんでいます。そのうち飽きるでしょうが、当面この調子でやって行きたいと思っています。
社友会の諸先輩方々、今後宜しくお願い致します。



会員番号 五二七九

鈴木 高重

一九五一年二月二十八日生

今年二月末に定年退職し、
社友会に入会させていただきました。

栃木資材部勤務後は、マレーシアのSMM、SRC(現SOEM)、そしてポーランドのSMPPLと、海外勤務が累計で十七年半になりました。

帰国後は、入院生活となりましたが復帰し、今般PDDMで定年を迎えることになりました。

まだ日本での生活が落ち着かない日々ですが、日本の美しさなどを見つめ直して参りたいと思っています。

今後とも皆様のご指導宜しくお願い致します。



会員番号 五三八〇

高橋 久男

一九五一年三月一日生

人生の大半をシャープと

共に歩んできてこの度つつがなく定年退職をむか

えられました。

これから社友会の一員として歩んで行きたいと
考え、何卒ご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



会員番号 五二九四

重面 治

一九五一年三月十日生

三月に定年退職し、社友会
に入会させていただきました。
今後の人生、皆様方と共に歩んでまいりたく、指
導宜しくお願いいたします。

☆写真・メッセージをいただけなかった皆様は、

会員番号、氏名、誕生日のみ紹介いたします。

会員番号 氏名 生年月日

五二二五	浅井 宏明	一九五三年七月三十日生
五二二六	渡辺 孝夫	一九五〇年十月五日生
五二二七	内山 章	一九四七年十月十六日生
五二二八	山崎 清治	一九五〇年十一月十四日生
五二二九	志賀 利則	一九五〇年十一月十六日生
五二三〇	中野内 誠	一九五一年一月一日生
五二三一	富川 一男	一九五一年一月五日生
五二三二	小川 広美	一九五一年一月二十九日生
五二三三	大出 勝利	一九五〇年二月十二日生
五二三四	遠山 英夫	一九五一年二月二十日生
五二三五	高木 己紀雄	一九五〇年二月八日生

“喜寿” “古希” おめでとうございます

(10名、敬称省略)

喜寿		
587	山中 洋雄	2月12日
588	小川 武	2月14日
古希		
1797	城本 昭	11月18日
1792	岩村 博	12月 4日
1794	松山 善匡	12月15日
1812	富岡 正雄	1月 2日
1843	阿部 修一	2月 6日
1844	鈴木 紘一	2月15日
1881	中野 武久	3月21日
1882	廣島 好美	3月27日

表紙説明

『中禅寺湖畔より男体山』

中禅寺湖畔の売店奥、洒落た建物の後ろに、雪を冠った男体山が見える。
男体山は中禅寺湖の北岸にそびえ立つ、標高2486メートルの雄大な山で、山全体が二荒山神社の聖域となっている。(撮影 只友将弘)

編集後記

「nikko」第二十八号をお手元にお届け出来る事を感謝します。

増田武司支部長を始めとする新支部体制が確立され支部の更なる発展が期待されます。

浦川正司前顧問には支部発展の為に内外を問わない長期のご奉仕を賜りました。

支部発足十周年を機会に懸案の支部会報を去る一月逝去された三友宏章氏との熱意で発行出来るようになりました。浦川、故三友さんに深甚なる感謝をさげます。(仲谷輝郎)

栃木支部 賀詞交歓会

平成 23 年 1 月 30 日～31 日



開催した鬼怒川サンシャインホテル

第 23 回・栃木支部総会

平成 23 年 5 月 14 日



議事進行中の様子



なが〜い挨拶に聞き入る会員の皆さま



総会に出席の皆さま

新幹事さんへの引き継ぎ幹事会風景



和やかに宴会進行中



平成 23 年 4 月 25 日



シャープ社友会・栃木支部 第 23 回総会(平成 23 年 5 月 14 日)